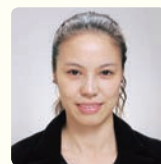


中国工具10年変遷

—— 次の10年を目指せ

株式会社京二
執行役員
ゆ しん けつ
巖 箴 潔



今回のJIMTOFの出展テーマは「日本中の切削コストを削る!」とした。

出展メーカーは株州工具を始め、超硬工具2社、ダイヤモンド工具3社、砥石メーカー1社、鋳物メーカー1社、ブラシメーカー1社、合わせて8社メーカーの共同出展となる。たくさんのメーカー取り扱って大丈夫か?と不安そうな声も社内外に聞こえていた。

なぜ多くのメーカーを取り扱うかの理由を申し上げたい。この10年間たくさんの工場を歩き回っている中、現場のお客様からこんな声があった。狭い分野の工具を取り扱うだけでなく、粗加工～仕上げ加工、バリ取り加工まで対応できる中国メーカーを探して欲しいという大手自動車メーカーの要望をきっかけにPCD、CBN工具からバリ取りツールまで取り扱うようになった。6年前の展示会で偶然にお会いしたお客様からいただいた部品図面から鋳造品の量産取引がスタートした。

京二の中国調達ネットワークをフル駆使し、工具のみならず、お客様ご協力、ご指導を頂きながら、良い品質、良い価格で日本製工業製品の同等品開発という分野が今後10年の開発方向としている。

精密加工分野での発展

2014年に北京ワールドダイヤモンド工具との取引開始。日本市場のPCD、CBN工具がほぼ飽和状態である現状を報告し、2016年JIMTOF向け真新しい商品を開発してきた。

PCD工具では珍しいマルチ刃設計高精度PCDフライスカッターや自社ホルダー付き鋳物加工用ソリッドCBNチップ標準シリーズが展示会で一番の目玉商品になっていた。

「ちょうど困っているからこのような商品があったよ良かった。」「設計理念は素晴らしい。きっと効率アップに繋がる。」というお客様の声は我々の絶大な動

力源になる。

商品群のベースになる株州工具に加え、上海ゾロンの特殊品、鄭州ダイヤ、上海山田の特殊PCD工具、北京ワールドダイヤ製標準PCDブレード付チップ、CBNチップ、フライスカッター、重切削向けソリッドCBNチップなどの製品群で鋼材、鋳物、アルミ合金、ステンレスの粗、仕上げ加工に全対応可能となる。

日本の有名企業から中国部品調達の見積依頼がきた時に中国の鋳造業界の調査をした。上海から200キロ離れている浙江省に、現地日系企業に多く部品を供給されるサプライヤーチェーンが存在していることがわかった。鋳物を始め、ステンレス鋳造品は大部分欧米向け輸出、アルミ鋳造部品は日本大手自動車メーカーや電子部品メーカーへ供給してきた。毎年厳しい日系監査の元、品質保証はもちろん、絶えずコストや納期短縮改善をされてきた。今回のJIMTOF出展によって今後日本国内のお客様への輸出取引も試みたい。日系本土企業に負けずスピードと技術能力で開発段階での参入が可能であり、お客様にとっても強力なコスト武器になるに間違いない。

お客様の御用聞きではなく、存在するニーズを発覚し、逆に新製品を推奨する事業が、京二海外事業が大きく脱皮するのだと期待する。

何もやらなければ何も始まらないと中国プロジェクトの口癖となり、他社や先輩がやっていたことにチャレンジし、結果を残せば、我々がやっていないことが後輩たちもきっとチャレンジしてくると確信している。魯迅先生の名言を借りながら説明すると「世の中にはルートは存在していない。歩く人が多くなればルートが自然に出来上がる」。京二の規模と力が大きくないが、微力でもお客様のために捧げれば悔いがない。